

岩切・女性たちの防災宣言

あなたの大切な人は誰ですか？
今何かをすることで、大切な人の命を守れるなら、
すぐにそれを始めませんか？

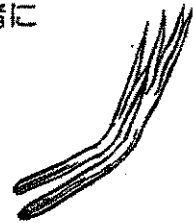


もし、大災害が起こったら、小さな子供を抱えてどうしよう？
避難所はどこ？ 何を持っていくの？ 夫と連絡がとれなかったら？

考えることが怖くて止めてしまっている、そんなあなたの不安を話してください。
私たちはあなたの心配を一緒に考えます。
考えることで、きっと怖さが減るでしょう。

隣に住んでいる人は誰ですか？

あなたが関心を持つだけで、何かが変わるはず。
ほんの少し勇気を出して声をかけてみたら、おすそわけの曲がりねぎと一緒に
情報が入ってくるかもしれません。



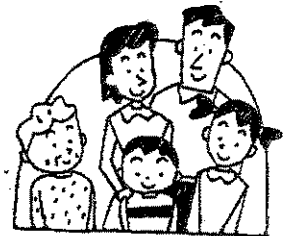
一戸一戸の家庭で防災の話をしてみませんか？

いざという時、どうやっておじいちゃんを助ける？
中学生の息子だって、みんなを守る側にたつことができる。
いろんなことを家族で話します。
大好きなみんなを守りたいから。

ちょっと自分たちの備えを心掛けることができれば
周りの人のことを考えてみます。
誰かにあてにしてもらえることで、がんばれるような気がします。
でも、がんばりすぎないで。

互いに認め合うことでつながっていきたいから、
感謝の気持ちをたくさん伝えます。
ありがとう、ありがとう、ありがとうの貯金をします。

岩切にはいろんな人が暮らしています。
親子四代共に暮らす人
新しくこの地域に住み始めた人
宮城県沖地震を体験している人、いない人。



私たちは、この岩切にある安心を伝えます。
地域防災マップがあることや
自宅の井戸や機材を「いつでもいいよ」と言って貸してくれる人がいることを。

私たちは、防災について考え続けるために語り継ぎます。
昭和53年の宮城県沖地震で、からくも命拾いしたことや復興までの苦勞を。

私たちは、ここ岩切でみんなが安心して暮らすために、
自分たちでできることを考え行動します。
大切な人の命を守るために。
この地域で育つ子供たちのために。